

メーデー宣言

本日、私たちは第95回広島県中央メーデーを開催した。

労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展や恒久平和を希求する、メーデーの社会的意義は不変である。多くの仲間が結集し、団結することの重要性を再認識し、この喜びを皆で分かち合おう。

能登半島地震発生から3カ月が経過した。改めて、亡くなられた方々に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、被災された方々、いまだ避難生活を続けておられる方々に、心からお見舞いを申し上げる。

私たちは、これまでも、これからも、「支え合い・助け合い」の心を一つに、被災地・被災者に寄り添った支援活動に取り組んでいく。

世界は「分断と対立」の道を突き進んでいる。未だ終結の見えないロシアによるウクライナ侵略や度重なる北朝鮮によるミサイル発射など、平和と秩序を武力で破壊する暴挙を決して許してはならない。さらに、ミャンマー軍事政権による市民への弾圧、パレスチナ自治区ガザにおける人道危機の深刻化など、人類普遍の価値たる人権が脅かされている。

私たちは、ITUCをはじめとする世界の働く仲間との国際連帯を強め、世界平和の実現と自由で民主的な世界の構築に向けて行動していく。

また、唯一の戦争被爆国として、被爆地ヒロシマに働く者として「核兵器廃絶」と「世界の恒久平和の実現」のため、国際社会の結束を強く求めるとともに、今こそ、平和・人権・環境・労働が守られる、自由で民主的な世界の構築に向け行動していく。

2024春季生活闘争は、労使の真摯な交渉の積み重ねにより、これまで多くの組合で昨年を上回る賃上げを獲得している。デフレマインドを完全に払しょくし、新たな経済社会へのステージ転換をはかる正念場における大きな一歩を私たちは踏み出した。

私たち労働組合には、職場を、そして社会を変える力がある。未来づくりへの社会的責任を自覚し、先行組合の勢いを後続の中小組合や組合のない職場へと波及させ、すべての働く仲間の生活向上につなげていく。

そして、日本の持続可能性に関わる構造的な課題の解決も待ったなしである。

私たちは「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けて、政策課題の改善に真正面から取り組み、ジェンダー平等の推進はもとより、さまざまな人たちとの対話と集団的労使関係を社会に広げる取り組みを進めるとともに、働く者・生活者の立場にたった政治勢力の結集・拡大をめざす。

今こそ、私たちの連帯の力で、平和と人権が尊重され、誰もが安心して暮らすことのできる社会を実現しよう。

以上、ここに宣言する。

2024年4月27日
第95回広島県中央メーデー